

環境レポート2017

富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社

FUJITSU I-NETWORK SYSTEMS LIMITED

Environmental Report



1. ごあいさつ

当社は、南アルプス、八ヶ岳、富士山を周囲三方に望む豊かな自然に囲まれた中に位置しております。1960年、南アルプス市に山梨工場を開設以来、富士通グループのネットワーク製品の製造拠点として半世紀以上にわたり、迅速かつ高品質なものづくりをしてまいりました。

早くから、「徹底したQCD追求」をものづくりの基本とした生産革新活動に取り組み、お客様の信頼にお応えすべく日々改善に努めております。

節電にも積極的に取り組み、太陽光発電(50kW)、緑のカーテン、各種断熱処理、空調設備の立ち上げ分散稼働の運用等により、継続的な省エネとピーク電力削減に努めております。

地域貢献活動では、2013年から南アルプス市と協働でユネスコエコパークの緩衝地域である楡形山に『山桜の森』を整備し環境保全活動を行っているほか、夜叉神峠の登山道整備についても5年間継続して参画しております。

今後も環境保全活動や地域活動を通して社会貢献に努めてまいります。



代表取締役社長
中村 裕登

2. 事業所の紹介

- 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社
 - 所在地 : 山梨県南アルプス市有野3346
 - 設立 : 1943年10月18日 [株式会社長谷川電機製作所]
 - 従業員数 : 364名(連結:421名)(2017年4月1日現在)
- 主な事業内容
 - ネットワーク機器及び通信機器の製造
 - 国内・海外の各種ネットワーク製品の出荷保証とカスタマイズ
 - お客様の企画、開発計画に基づく新技術・設計・製造・試験等の提案型ビジネスの提供



3. 環境活動

■ 2016年度の活動目標と結果報告

環境目標項目		目標値	実績値	結果
1	目的:エネルギー消費CO2(電力+重油+灯油+LPG)の使用量をCO2換算で2013年度実績比1.6%UPを維持する。	2,189 t-CO ₂ 以下	2,184 t-CO ₂	○
2	廃棄物の発生量は2012~2014年度実績(下水道化の浄化槽汚泥は除く)の平均以下に抑制する。(維持)	100t 以下	89t	○
3	生物多様性などの社会・環境課題の解決に取り組む活動に対し、資金、人材などを支援、および環境に関わる活動を実施する。	5件 以上	8件	○

4. 節電対策

- 前年以前からの継続的施策に加え、新たな節電対策も実施しました。
 - 太陽光発電(2011年10月~)
 - 空調室外機遮光シート
 - 建屋遮光シート
 - 屋根散水機
 - 空調機の集中コントロールによるピーク電力のシフト(夏/冬)
 - 屋根特殊シート
 - 室外機への外付け式凝縮器の取付
 - 老朽化空調設備の更新(2016実施件数:2件)
 - 長時間稼働エリアのLED照明化(新)
- 緑のカーテンは2010年度にスタートし、7年目となりました。
 - 西1・2号棟の南面、北1号棟西側に宿根アサガオを中心に育てました。
 - 「苗を整備して越冬させる」、「挿し木にして育てる」等、アサガオにも優しい活動に初めてチャレンジしました。



太陽光発電



屋根特殊シート



サーバー室の新空調機



食堂新空調設備
自立型ガスヒートポンプ(GHP)



空調室外機に外付式凝縮器『スパコンR』の取付
左:取付前
右:取付後



西洋アサガオによる緑のカーテン
(山梨県・南アルプス市のコンクールに応募)
南アルプス市より初の最優秀賞をいただきました【賞状】

5. 環境社会貢献活動

- 2013年に南アルプス市とグリーンパートナーズシップ協定を結び、協働の森として「南アルプス 山桜の森」を作り、下草刈りと環境教育を中心とした活動を行っています。
 - ◇5月の活動は、『山桜の森』に咲く花の名前をメモし、写真を撮りました。また、楡形山では鹿の食害により激減してしまったアヤマの花も見ることができました。3年前に植樹した山桜は、大きいもので高さが2mを超えるものもあります。
 - ◇10月は、「春に見た花の種を収穫しよう！」をテーマに活動を行いました。「種の保存」を目的に種を収穫し、乾燥して保存する取り組みを実施しました。山桜は、夏の間には高さ3m程に大きく成長したものもあり、森全体でも成長が感じられます。



5/28(土)『下草刈り&春の森調査体験会』
参加者:32名



10/29(土)『下草刈り&秋の森調査体験会』
参加者:21名

★南アルプス山桜の森

- ・南アルプス市 楡形山 高尾地内苗畑地区 森全体面積:4.3ヘクタール
- ・ヤマザクラ、モミジ



- 2012年度に始めた夜叉神峠の登山道整備活動への参加は5年目となりました。資材・道具の荷揚げなど、斜面での作業は大変な仕事ではありますが、充実したボランティア活動となっています。
- クリスマスには、クリスマスイベントを開催し、定時終了後に近隣の方々をはじめとした多くの方に参加して頂きました。
◇今年にはレーザーライトに加え、エレクトロダンスミュージックを流し、皆さんの楽しんでいる姿を見ることが出来ました。



5/28・29(土・日)夜叉神峠・高谷山の山道整備へ参加
参加者:6名(二日間延べ人数)



12月21・22日クリスマスイベント(地域の方ご招待)開催
イベント来場者:約145名(お子様プレゼント)

6. エコキャップ運動と、緑の募金

- 2010年度から本格的にスタートした当運動も7年目となりました(組合協賛)。『世界の子供たちのために』という趣旨のもと、自動販売機の近くにエコキャップ回収BOX(7か所)を設置し、年数回の回収を行っています。集まったキャップは『国土興産株式会社』へ回収依頼をし、加工売却金の一部を『JCV&ユニセフ』に届けていただいています。
2016年7月27日にエコキャップの引き渡しを完了しました。
- 緑の募金は、2013年度より会社寄付から従業員募金への切り替えを行い、秋の緑の募金週間にあたる10月の10日間を募金期間として広く寄付を呼びかけました。募金箱をお借りした『公益財団法人山梨県緑化推進機構』様に11月4日に寄付を行いました。



エコキャップ収集場所
(ポスターと回収ボックス)



集まったエコキャップ



緑の募金箱
10/11~10/21 設置

★成果【エコキャップ運動】

・提供数・・・ 38.7千個(約90.0kg) ・ CO₂ 抑制・・・ 283.5kg-CO₂ ・ ポリオワクチン・・・ 45人分

★成果【緑の募金】

・募金額・・・ 45,157円

7. 環境月間

- 環境月間の活動として『生きる力を取り戻す、緑のチカラ』と題して環境講演会を開催しました。『砂漠・国土・都市・住宅・校庭・工場』の全てに緑化という言葉が付き、それぞれの活動があること。緑のチカラによって、私たちの生活環境が良くなることを学びました。

【講師：山梨県富士山科学研究所 農学博士 菊池佐智子様】



環境月間のリボン(全社員着用)

2014年度から『環境月間』を知ってほしい！と始めた活動です。ポスター、垂幕の掲示、個人用リボンの着用、放送など6月の1か月間、環境を意識するために役立っています。



環境講演会【6月23日】

工場立地法の成り立ち、緑化の考え方の変遷「隠す緑化から見せる緑化」や、緑のカーテンをはじめとする壁面緑化についてのお話を聞かせていただきました。

9. 環境に関わる法規制の順守状況

法改正の速やかな把握により自社の事業活動に関わる法規制を確実に維持管理しています。また、法規制に基づく所轄官庁への報告、届出の実施等、法規制を確実に順守しています。

■ 地下水の水質検査

- 地下水 : 2016年4月13日と10月6日に地下水モニタリングを実施し、規制基準を順守していることを確認しています。

物質名	地下水基準(mg/L)	2016年度内最大測定値	結果
1,1-ジクロロエチレン	0.1以下	0.001	○
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04以下	0.001未満	○
1,1,1-トリクロロエタン	1以下	0.011	○
トリクロロエチレン	0.01以下	0.003	○

■ 騒音および振動の測定

- 騒音及び振動の測定を敷地境界において2016年7月11日に実施し、規制基準を順守していることを確認しています。

年月日	区分		自主基準値	山梨県条例値	2016年度内最大測定値	結果
2016.07.11	騒音	朝	53	55	46	○
		昼	57	60	48	○
		夕	53	55	45	○
		夜	45	45	43	○
	振動	昼	55	60	34	○
		夜	50	55	30未満	○

10. 環境方針

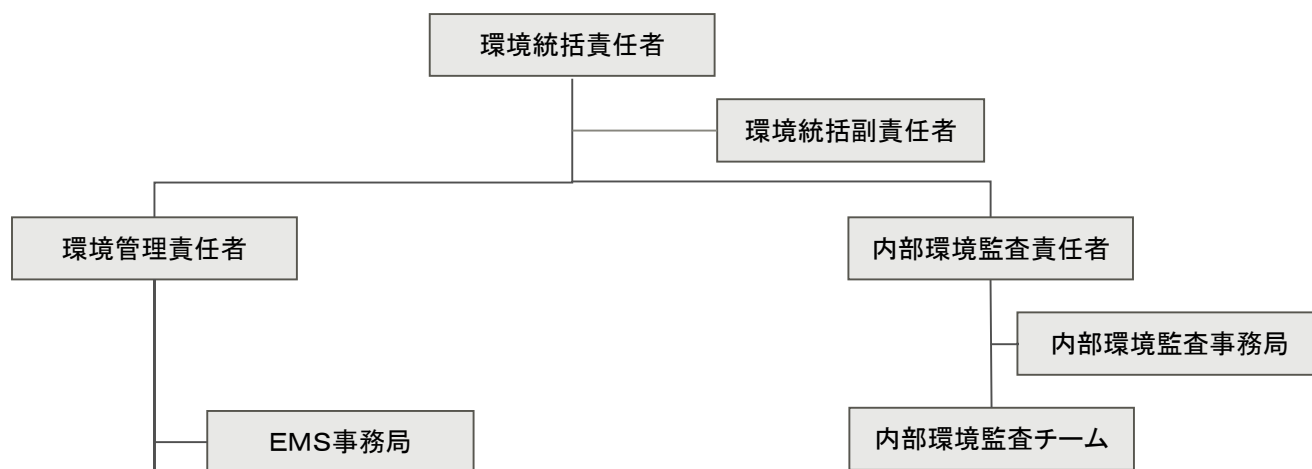
当社は、南アルプス、ハヶ岳、富士山を三方に望む自然豊かな南アルプス市に位置する企業として、環境保全が企業の重要課題であることを認識し、豊かな自然を次の世代に残すことが出来るよう、地球にやさしいよりよい企業活動を積極的に推進します。

■ 基本方針

1. 環境に与える影響を常に把握し、環境関連法、条令を順守します。さらに化学物質や廃棄物による汚染の予防や生物多様性保全を始めとした地球環境保全活動に努めます。
2. ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、環境により良い事業活動を推進するとともに、継続的な維持改善を実施します。
3. 温室効果ガス排出抑制計画チャレンジ事業者として、「山梨県地球温暖化対策条例」に基づいた取り組みを行います。
4. 第8期富士通グループ環境行動計画に基づく事項(i、ii)と独自事項(iii)について重点的に取り組みます。
 - i 温室効果ガス排出量の削減
 - ii 廃棄物発生量の抑制
 - iii 環境社会貢献／環境啓発活動の推進
5. 上記重点項目を具体的に推進するため環境目的・目標を設定し、組織的活動により達成を目指す取り組みおよび見直しを継続的に行います。
6. この方針は、教育・社内広報活動を通して当社内での業務に従事する全員に周知を行い、環境意識の高揚を図ります。

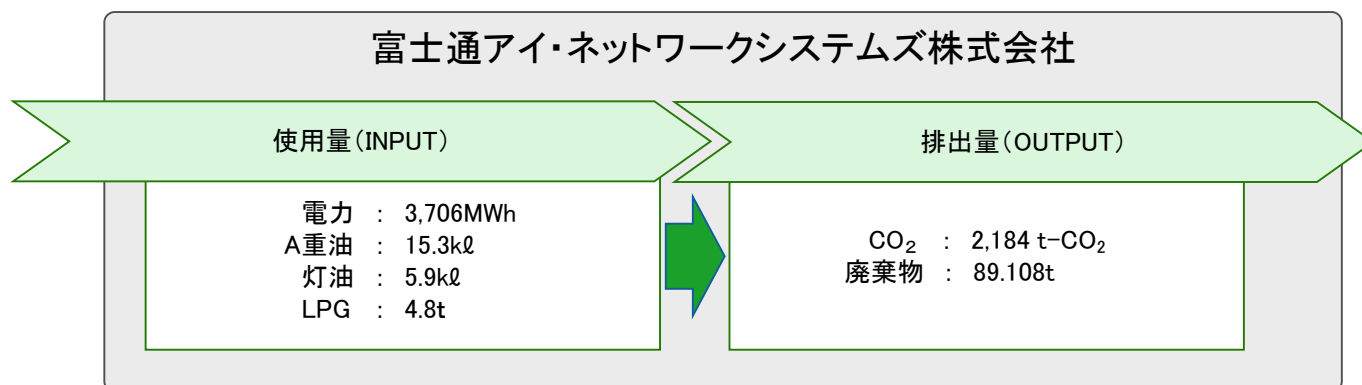
11. 環境活動に対する対象組織

- 組織構成は3社、派遣を含む485名(2017.4.1時点)となっており、活動体制は下図の通りです。



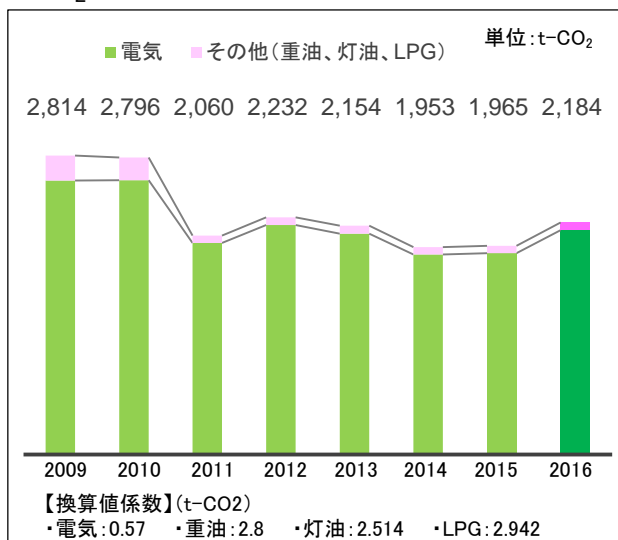
部門名称	部門構成
コーポレート部門	人事総務、人材開発、経理、環境施設管理
ビジネス推進部門	ビジネス推進、ビジネス企画、カスタマイズサービス、ビジネスサポート、ビジネスソリューション、生産、購買
製造部門	製造、製造ソリューション
品質保証部門	生産革新、品質保証、MVHサービス
エフ・エイチ・ビジネスサポート部門	(株)エフ・エイチ・ビジネスサポート
エフアイ・テック部門	エフアイ・テック(株)

12. マテリアルバランス



13. 環境負荷データの経年推移(主要な取り組み事例)

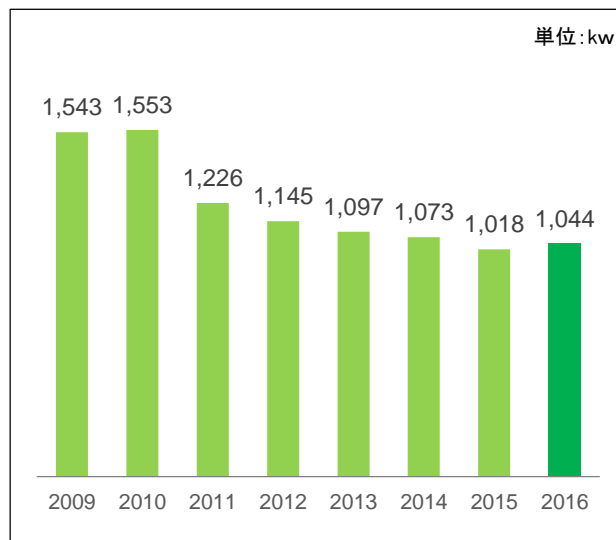
■ CO₂排出量



★ 節電対策

- ① 遮光シート取付(空調室外機/屋上/建屋南壁面)
- ② 遮熱系節電対策(屋根特殊シート/屋根散水)
- ③ 老朽化空調設備の更新
- ④ 空調効率化(室外機へ凝縮器取付)
- ⑤ 太陽光発電・・・62,413kwh/2016年度発電量

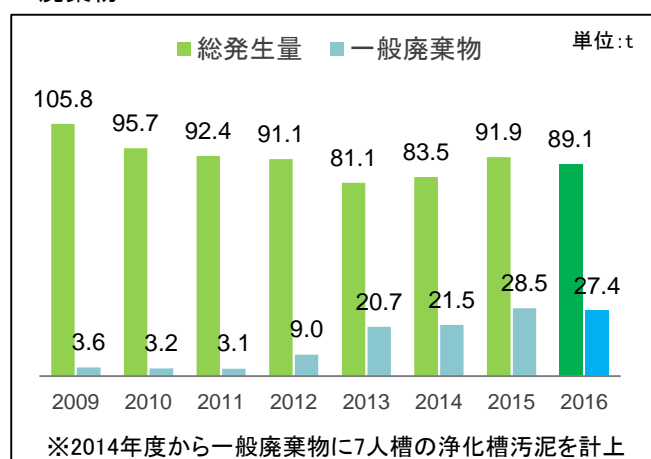
■ ピーク電力



★ ピーク電力低減への取り組み

- ① 空調機の集中コントロール化
 - ・空調機の立ち上げ分散稼働
 - ・建屋特性別温度管理
- ② 監視機能付き無線ロガー温湿度計による室内環境管理

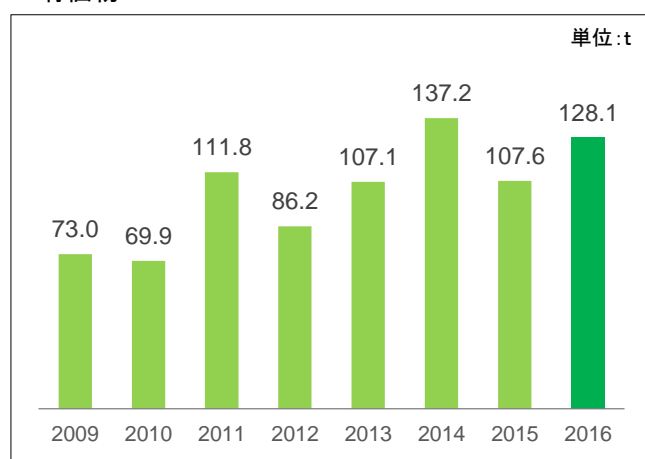
■ 廃棄物



★ 資源の再活用

- ① 有価物化の促進(分別の推進)
- ② 海外部品輸送用木製パレットの返却

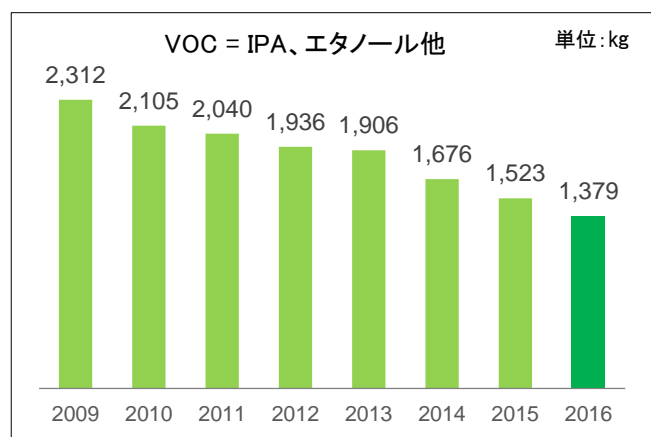
■ 有価物



★ 主な有価物

- ① 紙、段ボール
- ② 線類、廃設備等の金属類
- ③ 半田くず
- ④ 捨て基板、PPプラスチック等の廃プラスチック

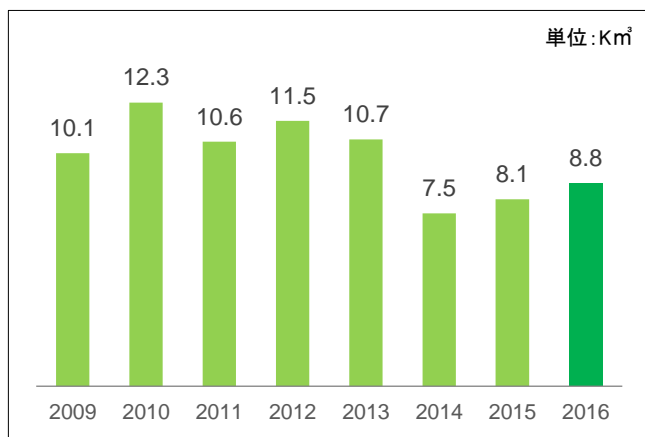
■ 揮発性有機化合物(VOC)の購入量



★ VOC削減の取り組み

- ① IPA使用管理表の作成
⇒異常値早期把握による改善推進
- ② かんばん方式での購入量管理
- ③ 半田槽搬送チェーンの洗浄液変更
<IPA⇒HA2789>

■ 水の使用量



★ 上水のムダ排除

- ① 一部の鉢植えの花に雨水を利用した散水実施
※工場用水は『0』、ほとんどが生活用水での使用

お問い合わせ先

富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社

環境施設管理部
〒400-0226 山梨県南アルプス市有野3346
TEL:055-285-0383 FAX: 055-285-0314

発行責任者 中村 裕登
編集責任者 金丸 昇
発行年月日 2017年 6月 6日
記載事項対象期間 2016年4月～2017年3月
報告URL: <http://www.fujitsu.com/jp/finet/>

